

令和元年度 大阪府立伯太高等学校運営協議会 第1回議事録

令和元年6月15日(土) 10:00～12:00

記録：細川

協議会委員参加者

- 田中 恒子 (地域教育相談員)
- 西田 芳正 (大阪府立大学人間社会学部教授)
- 仲島 浩 (和泉市立和泉中学校長)
- 山野 正広 (和泉市総務部人権・男女参画室長)

事務局参加者

- 大崎 弘司 (校長)
- 稲田 淳子 (教頭)
- 井上 義之 (事務長)
- 細川 太郎 (首席)
- 高山 玄一 (首席・第一学年主任)

その他参加者

- 白木原 舜 (生徒指導部長)
- 松本 理沙 (進路指導部長)

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員・校内事務局紹介 会長・副会長 選出 (会長：山下 副会長：山野)
- (3) 令和元年度学校経営計画
- (4) 校内授業見学 (1年現国 3年ワールドイングリッシュ 3年マルチメディア 3年簿記)
- (5) 本校教員による生徒状況、校内体制等の報告
 - 1) 進路指導部 (松本教諭)
 - 2) 生徒指導部 (白木原教諭)
 - 3) 本年度入学生 (42期生) の状況 (高山首席)
- (6) 令和2年度使用教科書について
- (7) 意見交換
- (8) 校長謝辞

[主な質問、意見等] ○は質問、 →は答え、 ●は意見や感想

生徒指導関係

○交通マナーに関する苦情・指摘が増えているとのことだが、交通マナーが悪化しているのか？

→マナー違反に関しては今までもあったことであるが、指摘を受けた際の対応が悪いとの指摘が多い。

○遅刻の集計グラフは、同じ集団を追ったものか、それとも年度ごとの経年観察しているものか。

→経年観察しているものであるが、前年度の学年を見ることで同じ集団の遅刻数を観察できる。

●3年生は、進路に対する意識からも1学期は出席状況を気にする傾向はあるが、現3年生は2年次より遅刻を減らすことができている。

○遅刻総数が減っている中で、現1年生の遅刻数が多いとのことであるが、何か理由はあるのか？

→中学校から聞き取った情報においても、中学校でも遅刻が多かったり、集団での行動にマナーの悪さなどが目立ったとは聞き取っている。

●現1年生は中学時代に遅刻の多い学年であった。

●現中学3年生は、遅刻数は少ないが、交通マナーに関する指摘が多い学年である。

○校外学習を欠席する生徒が多かったとのことであるが、考えられる理由は何か？

→新クラスになり、友人関係などで不安を抱える生徒が、学校外での一日の活動を避ける傾向にあるのかもしれない。

○SNSへの投稿をきっかけに問題事案が発覚するケースが増えているとのことであるが、生徒間の口コミなどでこれを抑制することはできないのか。

→今年度、行事予定の都合で情報モラルに関する講習会の開催が7月にずれ込んだことが、生徒が軽はずみにSNSへ高校生としてふさわしくない画像や動画をアップする要因のひとつとなった可能性はある。事案に対応して正と全体への指導を行っているところである。

進路指導関係

○大学（高等教育）無償化がはじまることについての情報提供はなされているか？

→適応される条件なども鑑みて、具体的なアナウンスはしていない。しかし生徒にとっては大きなメリットであるため、個別への相談対応は進めている。

その他

○入学者の学校数に変化はあるか？

→大きな変化はないが、今年度の新入生については地元集中の傾向がある。同じ中学の友人が大勢いるので、集団で登校し、交通マナーの悪さにつながるひとつの要因となっている可能性もある。今まで実績のない中学や遠方からの入学者もいる。中学からの環境の変化を求めているのかもしれない。

○1年生と2年生で転学や退学する生徒数が同じくらいになるのはなにか理由は考えられるのか？

→転・退学者のうち、1年生は年度末に成績不振を理由に転学・退学する生徒の割合が多い。2年生は新クラスでの人間関係などを理由に年度途中で転・退学する生徒の割合が多い。近頃では、転学を受け入れる学校も増えてきたことから、単位制や通信制に転学する生徒が増えている。留年してやり直す生徒は近年かなり少なくなっている。

○女子の夏服着用率が低いように思うが、なにか理由は考えられるのか？

→肌を見せたがらない女子生徒は増えてきているように思う。また、夏服シャツに関しては、希望購入としており、もともと購入率は高くない。